

社会連携系プログラム(レベルⅠ) 社会連携基礎

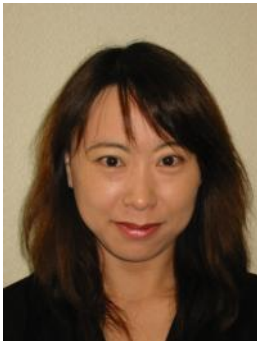
■講師



土居 修身

(愛媛大学社会連携推進機構 副機構長 教授)

2010年まで経済産業省に勤務。本省、四国局において、産業振興、産学官連携を中心に官の立場で政策立案・展開に従事。愛媛大学においては、社会連携推進機構副機構長として学内コーディネータを統括。学外においても、愛媛県の産業技術力強化戦略策定会議の座長を務めるとともに、全国コーディネート活動ネットワークの有識者会議メンバーとして我が国全体の産学官連携コーディネーションの在り方について議論に参加するなど、社会連携を巡る幅広く活動を実施。



児玉 直子

(愛媛大学社会連携支援部社会連携課契約 知財チームリーダー)

松山商科大学卒業後、愛媛大学に採用。愛媛大学において会計系の仕事に長年携わり、平成23年4月より契約・知財関係の事務を担当。

■プログラム概要

まずは、大学の社会連携とは何か、何故社会連携なのか、どのような歴史的経緯があるのか、等社会連携を巡る基礎的な認識を深めて頂きます。研究分野や教育分野、これらをサポートする事務分野の方々も、このような基礎的認識を深めて頂くことにより日常の諸活動の幅が広がると考えています。

次いで、主題である大学の社会連携事業が抱えている今日的な課題について問題提起させて頂き、その解決策についてグループワークを行って頂きます。参加者が自らの課題として受け止め、その解決策を探る議論に参加することにより、チームとしての問題解決力をつけるとともに、チームに貢献することの重要性の理解向上に繋がると考えています。

最後に、社会連携(特に産学連携)の世界で話題になることの多い様々な概念、用語について解説します。社会連携虎の巻です。「これで貴方も社会連携通」がキャッチフレーズです。

■主な受講対象

大学等の社会連携活動に従事されている方、関心を持たれている方が中心になると思いますが、教員、事務職員を問わず、社会連携初心者の方も大歓迎です。

■本プログラムの到達目標

1. 社会連携を巡る基礎的な認識を深めることができる
2. 大学の社会連携事業が抱えている今日的な課題について自ら認識することができる
3. 大学の社会連携事業が抱えている今日的な課題について、その解決策を挙げることができる
4. グループワークによって、チーム全体としての問題解決力、チームに貢献することの重要性が理解できる
5. 社会連携(特に産学連携)の世界で話題になることの多い様々な概念、用語を説明することができる

■日時・会場・受講定員

日 時 : 平成25年8月21日(水) 15:30~17:30

会 場 : 愛媛大学 城北キャンパス 愛大ミュージズ 2階 M24教室

定 員 : 40名